

琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議

かわら版 かわら版 かわら版 - 第3号 -

事務局：京都府文化環境部公営企画課

TEL:075-414-4772 FAX:075-414-5470

Email:koei@pref.kyoto.lg.jp

平成20年9月発行

三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県



琵琶湖・淀川流域
ネットワーク推進会議
構成員 各府県担当課

三重県政策部地域づくり支援室

TEL:059-224-2419

滋賀県琵琶湖環境部水政課

TEL:077-528-3360

京都府文化環境部公営企画課

TEL:075-414-4772

大阪府政策企画部企画室

TEL:06-6944-6118

兵庫県企画県民部政策室ビジョン担当課

TEL:078-362-3057

奈良県地域振興部資源調整課

TEL:0742-27-8489

「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」とは

平成15年3月の「第3回世界水フォーラム」開催を契機に、流域6府県(三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県)では、水環境保全ネットワークの構築に向けて検討を進め、実務担当者による「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」を立ち上げました。

「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」の活動

水質や生態系などすべての水環境保全については、流域での一体的な取組が重要であることから、「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」は、府県間の連携した取組とともに、住民・NPOなど多様な主体との協働による取組を進めていくこととしています。

かわら版では、流域6府県の水環境保全に関する取組を紹介します。

ホームページ：<http://www.pref.kyoto.jp/kyonomizu/10400031.html>
流域府県の水に関わるイベントなどの情報

三重県

伊勢湾などの閉鎖性海域では、水質・底質の浄化が進みにくいため、夏場に水中の酸素が著しく減ってしまい、その海域の魚介類が住処を失ってしまう貧酸素水塊の問題や、大雨のシーズンに、陸(河川)から流れてきたゴミや流木等で海岸が埋まってしまう漂着ゴミの問題など多くの課題を抱えています。

三重県では「里海」伊勢湾を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すため、「みえのうみ」環境保全活動促進事業として、沿岸域に関する情報収集・発信の強化や、多様な主体と連携した流域の健康診断及びその支援策を実施するとともに、地域で活動の核として行動できる人材の育成や多様な主体が参加する流域ネットワークづくりを行い、県民が主体となった海をはじめとした流域圏全体の環境保全に向けた取組を促進しています。

昨年は、この取組の一環として、琵琶湖、淀川水系の一部である伊賀地域で、地元活動団体による川の生物観察会に「みえのうみ」担当者が講師として参加しました。

参加した観察会は、伊賀市の依那古探検隊の皆さんによる「川と田んぼを行き来する魚たち」をテーマとした水生生物調査と、NPO法人伊賀・水と緑の会が主催した前深瀬川での川の生き物観察会です。特に、前深瀬川は旧青山町を流れる木津川の支流で、オオサンショウウオが生息できる環境が残った川として知られています。

今後も、様々な活動団体の皆様と連携して流域情報の充実や流域の健康診断等に取り組むとともに、流域ネットワークの構築を進めていきたいと考えています。



依那古探検隊の水生生物調査



前深瀬川での川の生き物観察会

滋賀県

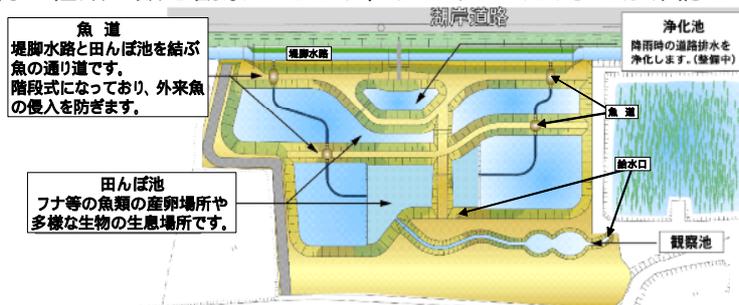
近年、琵琶湖では、ヨシ帯や内湖の減少、土地改良事業による用・排水の分離、湖岸堤の設置などによって魚や鳥たちなど多様な生物の繁殖・生育の場が減少し、生命を育む場所が衰退していると言われています。このため、滋賀県では水資源機構と協働して、草津市下物町で琵琶湖の湖辺域の保全・再生の取り組みの一環として、魚類の産卵・生育の場となる琵琶湖とつながったビオトープを整備し、再自然化試験を行っています。

施設の規模としては、約7000㎡の面積があり、ビオトープ池を4箇所設置しています。これらのビオトープ池は魚道を介して堤脚水路とつながり、さらに琵琶湖につながっています。

魚道については、稚魚の成育期において外来魚の侵入を防止するため、階段式魚道工を採用しています。これは、県農政水産部の研究成果によると、10cmの落差で魚道工を設置すると外来魚の遡上が抑制できるとの結果に基づき採用したものです。

また、この他に、浄化池も設置しています。降雨時における路面排水には、土砂、自動車タイヤの磨耗くずや排気ガス成分、舗装のアスファルト成分などが含まれており、これらが琵琶湖の水質汚濁の一因となっています。そのため、湖周道路の集水ますから雨水を取り込み、この浄化池で浄化してから排水するものです。

4月30日より週1回、県と水資源機構で協働で生物モニタリングを実施しています。調査内容は、各ビオトープ池に設置した人工産卵床への産卵の状況、魚道上流側に設置したトラップでとらえた生物の種類と数を観察しており、フナやナマズなどが確認されています。



魚つかみ体験の様子

京都府

「京都府鴨川条例」について

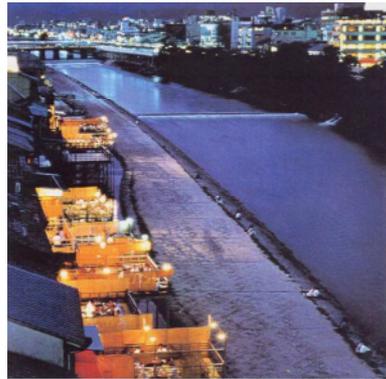
鴨川は、悠久の歴史の中で千年の都と京文化を育んできた川であり、今も大都市にあって清澄さを保ち、憩いの場として多くの人に親しまれている河川です。

しかし、一方では、放置自転車など快適な利用を妨げる行為や周辺の施設・設備による景観阻害、さらには環境面を含めた幅広い課題があります。

このため、鴨川の河川環境を安心・安全で良好かつ快適なものとして次の世代に引き継ぐために、
安心・安全の確保 良好な河川環境の保全
快適な河川利用の確保 府民協働の推進
を柱とする「京都府鴨川条例」が、平成19年7月10日に公布・施行され、自転車等の放置禁止や迷惑行為（打ち上げ花火等、バーベキュー、自動車等の乗り入れ、落書き）の禁止に関する規制条項が平成20年4月1日に施行されました。



鴨川出雲橋周辺



鴨川納涼床 四条大橋周辺

詳しくは、<http://www.pref.kyoto.jp/kamogawa/1172736051000.html> で紹介しています。

大阪府

川の体験学習「水辺の学校」や地域の交流会「私の水辺大発表会」の取組みについて

大阪府では、地域住民、学校、市民団体等の皆様と「共につくり、守り、育てる水辺づくり」を目指し、川の体験学習「水辺の学校」(平成11年度～)や地域の交流会「私の水辺大発表会」(平成14年度～)を実施しています。

「水辺の学校」では、小学校の授業や地域の行事の中で、川での体験を中心とし、水質や生き物調べ、ごみ拾い等を実施しています。平成11年度の1校(94人)からはじまり、平成19年度では15校(1,183人)に増え、これまで合計約7500人の児童の方が体験学習を行いました。

また、「私の水辺大発表会」は、河川、ため池、水路などの身近な水辺の発見や水辺での様々な活動の活性化、各活動団体間の連携や交流が深まるよう、地域住民、学校、市民団体、企業の方々と協働で開催しています。平成19年度は、6つの地域で交流会を開き、約700人の方に参加していただき交流を深めました。

これらの取組みがきっかけとなり、年間を通じた自主的学習への発展や、川の清掃や愛護活動を行うアドプトリバー制度への登録など、川を取り巻く地域活動の輪が広がっています。



春木川での「水辺の学校」



「私の水辺大発表会」中河内地域交流会

兵庫県

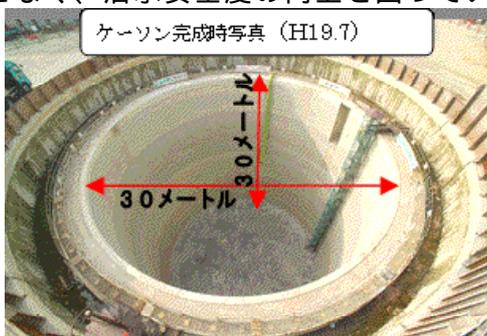
猪名川流域の支川寺畑前川で進めている洪水調節池について紹介します。

寺畑前川は、川西市の住宅密集地を流れる小河川で、普段はそれほど水量も多くなく、近所の子供達が水遊びをする姿も見られるなど、生活環境に潤いを与える存在ですが、台風や梅雨の時期には道路冠水や家屋浸水などの被害がたびたび発生しました。中でも平成9年には7、8月の2度にわたり床上・床下浸水が発生し260戸を超える被害がありました。これらの洪水対策として一時的に水をためる地下調節池をつくることになったのです。

調節池は、ケーソンと呼ばれるコンクリート製の円筒形の構造物で、その大きさは、内径・深さともに約30mという巨大なものです。これは同じ工法で作られたケーソンとしては国内最大のもので、ここには6レーンの25mプール約65個分に相当する19,400トンもの水をためることができます。

平成16年から着手した工事も最終段階にかけ、完成は来年春を予定していますが、川と調節池が繋がったことから、少しでも早く効果が現れるよう今年の6月から暫定使用を開始し、洪水に備えています。

今回の寺畑前川に於ける治水対策は、川幅を広げたり川底を掘削したりせず、調節池を河川に隣接する大学のグラウンド地下に設置するなど、河川環境や周辺の生活環境に大きな影響を与えることなく、治水安全度の向上を図っています。



奈良県

前回に続き、「水」とふれあい、「水」に親しむことのできる場所として、室生ダムとその周辺に整備されている公園などの紹介をします。

奈良県宇陀市にある室生ダムは、木津川の支流宇陀川にあり、昭和49年に完成しました。奈良盆地の市町村に水道用水を供給する奈良県営水道の水源として、重要な役割を持っています。近年は、水に親しむことのできる貴重な場所として公園などが整備され、多くの方々に利用いただいています。また、近くには女人高野として有名な「室生寺」や、桜の季節には「又兵衛桜」など多くの観光名所もありますので、ぜひ一度お越し下さい。

はいばら

1, 「平成榛原子供のもり公園」 [TEL 0745-82-7411]

室生ダムの上流部、宇陀川とそれを囲む山並みが美しい場所に「平成榛原子供のもり公園」があります。メインの施設となる「森の館」では、水や森の役割や性質を学ぶことができます。バーベキューサイトやキャンプ場も併設されていますので、家族みんなで、楽しく水に親しむことのできる公園となっています。

ふしぎ

2, 「不思議の森公園」 [宇陀市室生地域事務所：TEL 0745-92-2001]

室生ダムに隣接している「不思議の森公園」は、四季折々の花が咲き、訪れる人の目を楽しませてくれます。斜面に作られた遊歩道で園内を散策でき、頂上からは室生ダム湖を眺めることができます。子どもたちに人気のあるローラー滑り台や木遊具の森の砦、森の回廊などがあり休日には、家族連れで賑わいます。また、公園のすぐ隣には、運動場、テニスコート、オートキャンプ場などもあり、スポーツやイベントにもご利用いただくことができます。



不思議の森公園



平成榛原子供のもり公園



室生ダム